

第四回合同委員会記録

第四回運営・編集合同委員会が、九月一日(月)午後五時から東京教育大学社会学研究室において開催された。出席者は、柿崎京一、園田恭一、中野卓、蓮見音彦、福武直、安原茂、吉沢四郎各委員、民秋言(事務局)の計八名。

議題は、(一)二〇回大会の件 (二)年報・叢書の件 (三)その他 であつた。

(一) 二〇回大会の件

(イ) 課題報告について

課題報告の応募は、メ切の八月末日になっても一件もなかったため、事務局が、運営委員一七名に推せん方を依頼するとともに、さきを実施したアンケート(研究動向Ⅱ通信八一号掲載)などを参考に、五会員にも応募方の勧誘をおこなった。事務局の勧誘に応じて、報告者として応募下さった方々は、中井信

彦、布施鉄治、戎野真夫の三会員であった。この三会員に対して、委員会では正式に報告をお願いすることを決定した。

なお、司会者団については、従来、ともすれば在京委員にかたよって選出される結果になりがちであったが、今回は、東京を除く地区の会員にお願いするとの方針が事務局原案として出され、島田隆、後藤和夫、松本通晴の三会員への依頼が決定された。(なお、委員会決定後、事務局よりの連絡に対し、島田、松本両会員からは快諾を得た。後藤会員については、公務の都合上と辞退。事務局は急拠二、三の運営委員と相談した結果、牧野由朗(愛知大)会員に依頼、同会員から快諾を得た。)

(ロ) 自由報告について

一般応募三に、事務局勧誘による応募一を加えた四報告が、委員会では正式に本年の「自由報告」として決定。

(ハ) 大会プログラムについて

右の課題報告、自由報告の決定にしたがい、詳細なスケジュールが事務局原案どおり決定された。

(二) 年報・叢書の件

柿崎編集委員から左のとおり報告があり、承認された。

○年報第八集 定価二〇〇〇円(会員定価一七〇〇円)

総頁数約二五〇頁

○研究叢書第三輯 黒崎八洲次良会員の原稿は、内容検討終了次第、出版社へ入れる段取り。

(三) その他

村研創立二〇周年記念事業としての『研究通信 創刊号—
第五〇号』の刊行について

二〇周年事業に相応しいものとして、事務局原案どおり実施
することに決定。(詳細は本通信次項参照)